

## EUにおける多言語主義

EU「～教育と学び～（教育とトレーニングに関する白書）1995」（抜粋）

### Ⅲ. 経済社会における雇用を可能とする能力を向上させるために A. どのような技術が要求されるか

（中略）

EU閣僚理事会では学校で少なくとも2言語（外国語）に堪能になることが必要であるとしている。

### Ⅳ EU域内の3つの言語の進歩

（中略）

言語を学ぶことで他の重要な効果がある。：経験上、大変早い時期から言語教育が始められると、学校の成績が向上するための重要な要因となる。他の言語に接すると母語が堪能になるのみならず、言語教育が母語の習得をも容易にする。言語教育が心を広げ、知性を刺激し、人々の持つ文化的視野をも広げる。多言語主義はヨーロッパのアイデンティティ、共同社会、そして学習社会には欠かせないものである。